

市制施行60周年
記念事業

いつでも夢を

吉田正メモリアルコンサート

—吉田正音楽記念館建設に向けて—



よしだまさみち

9/17(金)

日立市民会館ホール

昼の部 午後3:00開演

夜の部 午後6:30開演

主催：吉田正メモリアルコンサート実行委員会、日立市、(財)日立市科学文化情報財団、吉田事務所
共催：(財)日立市民文化事業団
協賛：(財)げんでん ふれあい茨城財団
後援：茨城県、茨城県教育委員会、日立市教育委員会、日立商工会議所、**MN**水戸放送局、**HITACHI**
協力：ピクチャーエンタテインメント

吉田 正氏 経歴

本名	吉田 正
筆名	吉田 正
生年月日	大正10年1月20日
没年月日	平成10年6月10日
出身地	茨城県日立市
最終学歴	日立工業専修学校機械科卒
職歴	昭和14年4月 東京都京橋区槇町3丁目 増成動力工業株式会社に入社
軍歴	昭和17年1月 水戸歩兵第2連隊(満州国黒河省漱江)に入隊 昭和20年10月 ソ連邦シベリア地区に抑留 昭和23年8月 舞鶴港に復員
音楽歴	昭和24年4月 日本ビクター株式会社専属作曲家として入社
団体役員歴	社団法人 日本作曲家協会会長 社団法人 日本音楽著作権協会会長 日本音楽作家団体協議会(FCA)会長
褒章及び叙勲	昭和44年4月 芸術選奨文部大臣賞 昭和57年11月 紫綬褒章 平成4年4月 勲三等旭日中授章 平成10年7月 国民栄誉賞
その他の賞	昭和35年12月 日本レコード大賞(「誰よりも君を愛す」) 昭和37年12月 日本レコード大賞(「いつでも夢を」) 昭和43年12月 日本レコード大賞特別賞 平成2年12月 日本レコード大賞功労賞 平成5年3月 日本放送協会 放送文化賞 平成10年12月 日立市名誉市民

主な作品 異国の丘／街のサンドイッチマン／赤と黒のブルース／東京の人／好きだった
／有楽町で逢いましょう／公園の手品師／泣かないで／誰よりも君を愛す／東京
ナイト・クラブ／再会／潮来笠／江梨子／寒い朝／いつでも夢を／おまえに
／傷だらけの人生／子連れ狼／日立音頭 他

総作曲数 2,400曲 (歌謡曲 1,800曲・校歌他 600曲)

第1部 オーケストラが奏でる吉田メロディー

異国の丘

街のサンドイッチマン

赤と黒のブルース

哀愁の街に霧が降る

有楽町で逢いましょう

誰よりも君を愛す

霧子のタンゴ

指揮／半井 進

日立交響楽団、市民コーラス

第2部 吉田正先生を偲んで

深緑 夏代 岩谷 時子 吉田喜代子

龍野めぐみ（ピアノ演奏）

第3部 吉田学校卒業生と市民コーラスの歌

落葉しぐれ

三浦 洸一

東京の人

三浦 洸一

初恋笠

古都 清乃

和歌山ブルース

古都 清乃

美しい十代

三田 明

東京カチート

三田 明

東京ナイトクラブ

三田 明、古都 清乃

潮来笠

橋 幸夫

子連れ狼

橋 幸夫、日上市少年少女合唱団

恋のメキシカン・ロック

橋 幸夫、市民コーラス

いつでも夢を

橋 幸夫、三浦 洸一、三田 明、古都 清乃
市民コーラス、日上市少年少女合唱団

指揮／荒木 圭男

日立交響楽団／市民コーラス／日上市少年少女合唱団

出演者



三浦 洸一

昭和28年、「さすらいの恋唄」でデビュー。「落葉しぐれ」が大ヒットとなり、一躍注目を集める。昭和29年NHK紅白歌合戦初出場。昭和31年、「東京の人」「ああだまの町」など大ヒットが続き、男性的な豊かな声量の人気歌手として大衆にすっかり定着していった。「踊子」「街灯」「桜の園」等、多数のヒット曲を持つ。



橋 幸夫

昭和35年、デビュー曲「潮来笠」の爆発的ヒットで、日本レコード大賞新人賞の第一回受賞者となる。昭和37年には「いつでも夢を」でレコード大賞を、さらに昭和41年には「霧氷」で二度目のレコード大賞を受賞。現在までに発表した曲は、SP・LPを含め、500曲を越えている。近年、講演、著作でも活躍している。



三田 明

昭和38年、「美しい十代」でデビュー。昭和39年からNHK紅白歌合戦に5年連続出場。テレビ「笑っていいとも」「へばちゃんの台所」「長七郎江戸日記」他にレギュラー出演した。昭和60年、映画「刑事物語Part3」出演。平成7年から平成8年にかけて、阪神・淡路大震災チャリティコンサートに出演した。



古都 清乃

昭和40年、「初恋笠」でデビュー。昭和41年にリリースした「和歌山ブルース」が、昭和54年頃から近畿、中国、九州地方を中心に有線リクエストが殺到、レコード売上げも急増し、現在に至るまで根強く売れ続け大ロングセラーとなる。平成7年には「長良川夜曲」で日本有線音楽賞を受賞。

特別ゲスト



深緑 夏代

昭和10年、宝塚音楽歌劇学校入学。宝塚在籍中の昭和19年、毎日音楽コンクール歌曲の部（現・日本音楽コンクール）で、優勝該当者なしの第2位に入賞、文部大臣賞を受賞。昭和22年、越路吹雪とコンビを組み、公演を行う。昭和32年から「深緑夏代リサイタル」を毎年開催。昭和41年から12年間、宝塚歌劇団の講師を務めた。昭和54年、大阪と東京でシャンソン・コレクションを主宰、翌年、深緑夏代シャンソン教室を大阪と東京ではじめる。昭和61年、大阪と東京でシャンソン・フェスティバルを主宰。平成4年文化庁主催芸術祭に参加、芸術祭を受賞。平成6年、秋の叙勲にて、勲四等端宝章。



岩谷 時子

作詞家・訳詩家。昭和39年「ウナ・セラ・ディ東京」「夜明けの歌」、昭和41年に「君といつまでも」他で日本レコード大賞作詞賞、同年、芸術祭文部大臣賞受賞。昭和44年「いいじゃないの幸せならば」で日本レコード大賞、同年、芸術祭文部大臣賞レコード部門奨励賞受賞。昭和55年、菊田一夫賞特別賞受賞。昭和58年、日本作詞大賞優秀賞、昭和61年、東京都文化賞、第1回ダイヤモンドレディ賞受賞。平成5年、春の叙勲にて、勲四等端宝章。吉田正氏との作品に、大作「慕情」「おばあちゃん」の他、「妻を恋うる唄」「おまえに」等がある。主な訳詩に「愛の讃歌」「おおシャンゼリゼ」「マイウェイ」等がある。



龍野めぐみ

桐朋学園ピアノ科卒業。深緑夏代氏にシャンソンを師事。昭和57年、草月ホールにて、コレクションに出演。その後、ポートピア、博品館劇場、大阪厚生年金会館、他で、コレクション、パリ祭、リサイタル等に出演。平成5年と平成6年に、市原悦子オン・ステージの音楽を担当した。



広瀬久美子(司会)

千葉県市川市出身。早稲田大学文学部国文学科卒業後、NHKアナウンサー室に配属となり、現在にいたる。『土曜サロン』～広瀬久美子のラジオワイド～を担当。これまでに、テレビ「今日の料理」「婦人百科」「ピアノのおけいこ」、ラジオ「みんなの茶の間」ほかに出演。著書は「女の器量は言葉しい」(昭和60年度ベストセラー第1位)ほか多数。

指揮／半井 進、荒木圭男

演奏／日立交響楽団

コーラス／市民コーラス（若竹会、さくら女声
コーロ・ソレーラ）
日立市少年少女合唱団

編 曲／半井 進、荒木圭男、忠平 隆

いつでも夢を

佐伯孝夫 作詞
吉田正 作曲

一.

星よりひそかに 雨よりやさしく
あの娘はいつも 歌ってる
声がきこえる 淋しい胸に
涙に濡れた この胸に

言っているいる お持ちなさいな
いつでも夢を いつでも夢を

星よりひそかに 雨よりやさしく
あの娘はいつも 歌ってる

二.

歩いて歩いて 悲しい夜更けも
あの娘の声は 流れくる
すすり泣いてる この顔上げて
きいてる歌の 懐かしさ

言っているいる お持ちなさいな
いつでも夢を いつでも夢を

歩いて歩いて 悲しい夜更けも
あの娘の声は 流れくる

言っているいる お持ちなさいな
いつでも夢を いつでも夢を

はかない涙を うれしい涙に
あの娘はかえる 歌声で